



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 株式会社 サンゲツ

上場取引所 東名

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	75,503	16.2	2,794	21.5	3,176	19.9	2,033	29.1
29年3月期第2四半期	64,989	1.1	3,558	22.0	3,964	16.7	2,869	11.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,192百万円 (6.4%) 29年3月期第2四半期 2,343百万円 (19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	30.69	30.65
29年3月期第2四半期	42.46	42.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	157,069	106,119	67.5
29年3月期	163,717	108,892	66.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 106,034百万円 29年3月期 108,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		25.00		27.50	52.50
30年3月期		27.50			
30年3月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	15.0	6,100	19.4	6,800	18.7	4,500	31.5	67.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	67,000,000 株	29年3月期	68,070,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,548,263 株	29年3月期	1,032,697 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	66,248,373 株	29年3月期2Q	67,587,702 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期（平成29年4月1日～9月30日）の当社事業に関連の深い住宅市場においては、住宅ローンの低金利や、政府による住宅取得支援策等が一定の効果を表しているものの、好調だった貸家の着工が一巡したことなどから、1月から9月までの新設住宅着工戸数は0.5%の微増となり、総じて横ばいで推移しております。

こうした状況のもと、当社グループは中期経営計画（2017-2019）「PLG 2019」に基づき、販売力強化・物流の効率化など、成長に向けた施策を実行しております。また、北米や中国（上海）等における、海外での成長基盤づくりに注力しております。

当第2四半期の連結業績は、前期に買収したKoroseal Interior Products Holdings, Inc. 及び子会社化したフェアートン株式会社の業績を新たに連結対象としたことにより、売上高と販売費及び一般管理費が大幅に増加しました。また、新規連結先の影響だけでなく、既存のインテリア事業においても、物流拠点の新設や統廃合、基幹システムの再構築費用、人件費や輸配送コストの上昇などにより、販売費及び一般管理費が増加しております。

これらの結果、当第2四半期の連結業績は、売上高75,503百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益2,794百万円（同21.5%減）、経常利益3,176百万円（同19.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,033百万円（同29.1%減）となりました。

第1四半期より、報告セグメントを以下のとおり4区分に変更し、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（インテリア事業）

壁装事業では、昨年度2月に発刊した不燃認定壁紙見本帳「FAITH」において、非住宅分野への営業強化策が奏功し、ホテル・宿泊施設などでご好評いただきました。また、「サンゲツ壁紙デザインアワード」を開催し、数多くの方から応募をいただき、8月には受賞作品を発表するなど、“Joy of Design”を実現するブランディング活動にも注力しました。この結果、壁装材の売上高は28,248百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

なお、特定の仕入先からの一部の商品において品質問題が発生し、お客様相談室を設置の上、当該仕入先と連携しつつ当該商品の施工先住居、施設等に対する補修対策を実施しております。この補修に係る費用は仕入先によって全額負担されており、当社において損失は計上されておられません。

床材事業では、6月に「カーペット総合」、9月には「フロアタイル」見本帳を発刊し、展示会などを通じた設計事務所やコーディネーターへの積極的なPR活動を展開しました。また、超高密度なパイル構造を持つ床材「フロテックス」が、繊維床材の歩行性・安全性と、塩ビ床材のメンテナンス性を兼ね備える機能を高く評価され、2017年度のグッドデザイン賞を受賞するなど、新たな商品の開発・拡充に努めました。この結果、床材の売上高は20,224百万円（同3.4%増）となりました。

ファブリック事業では、7月に素材とクオリティにこだわった総合見本帳「STRINGS」とワンプライスによる使いやすさを追求した「Simple Order」の2冊を発刊、全国30ヶ所で新作発表会を開催し、市場への浸透に努めました。コントラクト施設向けカーテンと、専任営業体制による販売強化を進めた椅子生地は堅調でしたが、主力見本帳の切り替えに伴う売上ロスが影響し、カーテンと椅子生地を合わせたファブリックの売上高は3,621百万円（同0.6%減）となりました。

これらのほか、施工体制を担うフェアトーン株式会社の業績、施工代などを含むその他の売上5,554百万円(同10.7%増)を加え、インテリア事業における売上高は57,649百万円(同3.5%増)、営業利益は2,499百万円(同25.7%減)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、他社との競争が激化するなか、営業管理体制の再構築と施工力強化を継続しました。「快適さ」「便利さ」への需要が高まるなか、門まわり全体をデザインするファサードエクステリアや、宅配ボックスなどのアイテムが売上を牽引したほか、関東地区での大型物件獲得や既存営業先の取引規模拡大、施工費の売上伸長により、エクステリア事業における売上高は7,453百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は240百万円(同18.0%増)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、重点戦略市場であるコントラクト市場において、大手設計事務所との商品の共同開発や道路照明の拡販など、幅広い営業活動に努めました。しかしながら、価格競争が激化するなかで、市場環境は厳しさを増しており、売上高は1,791百万円(前年同期比12.7%減)、営業損失は44百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

(海外事業)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、和紙など日本古来の風合いを持つ商品や、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」の販売に着手するなど、新たな市場ニーズへの営業活動を広げました。買収前である前年と比べて売上高は5.1%増となり、北米における営業体制の拡充・強化は進んだものの、一部商品の販売不振が業績に影響しました。中国市場を担う山月堂(上海)装飾有限公司においては、今年新たに発刊した現地専用の壁紙見本帳が好評を得て医療関連施設等への採用が進むなど、着実に市場開拓を進めております。この結果、海外事業における売上高は8,771百万円となりました。また、のれん償却前の営業利益は516百万円、のれん償却後の営業利益は168百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べて6,647百万円減少し、157,069百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて2,773百万円減少して106,119百万円となり、自己資本比率は67.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期の通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,945	19,291
受取手形及び売掛金	40,186	36,350
電子記録債権	8,305	9,573
有価証券	1,800	2,011
商品及び製品	13,797	15,132
仕掛品	232	333
原材料及び貯蔵品	3,417	3,396
その他	2,814	2,402
貸倒引当金	△300	△235
流動資産合計	96,200	88,255
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,494	19,494
その他 (純額)	15,608	15,540
有形固定資産合計	35,103	35,034
無形固定資産		
のれん	10,929	10,011
その他	2,555	2,715
無形固定資産合計	13,484	12,727
投資その他の資産		
投資有価証券	11,583	13,802
その他	7,535	7,412
貸倒引当金	△190	△162
投資その他の資産合計	18,928	21,051
固定資産合計	67,517	68,813
資産合計	163,717	157,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,741	13,225
電子記録債務	8,169	7,336
短期借入金	489	812
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	1,882	1,140
賞与引当金	1,385	1,359
資産除去債務	267	491
その他	5,141	4,612
流動負債合計	32,578	29,478
固定負債		
長期借入金	12,719	12,523
役員退職慰労引当金	98	103
退職給付に係る負債	7,683	7,414
資産除去債務	410	412
長期未払金	256	124
その他	1,079	893
固定負債合計	22,247	21,471
負債合計	54,825	50,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	77,177	75,265
自己株式	△2,023	△3,042
株主資本合計	108,775	105,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,000	2,575
繰延ヘッジ損益	30	64
為替換算調整勘定	△256	△860
退職給付に係る調整累計額	△1,745	△1,590
その他の包括利益累計額合計	29	189
新株予約権	87	85
純資産合計	108,892	106,119
負債純資産合計	163,717	157,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
売上高	64,989	75,503
売上原価	45,606	52,182
売上総利益	19,382	23,320
販売費及び一般管理費	15,824	20,526
営業利益	3,558	2,794
営業外収益		
受取利息	5	12
受取配当金	70	88
不動産賃貸料	43	3
持分法による投資利益	163	234
その他	142	94
営業外収益合計	425	434
営業外費用		
支払利息	0	29
手形売却損	1	1
自己株式取得費用	9	6
その他	8	14
営業外費用合計	18	51
経常利益	3,964	3,176
特別利益		
固定資産売却益	—	0
退職給付制度終了益	108	—
その他	0	—
特別利益合計	108	0
特別損失		
固定資産除却損	30	3
賃貸借契約損	67	—
その他	4	—
特別損失合計	102	3
税金等調整前四半期純利益	3,971	3,173
法人税、住民税及び事業税	1,260	1,141
法人税等調整額	△158	△1
法人税等合計	1,102	1,140
四半期純利益	2,869	2,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,869	2,033

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月 30 日)
四半期純利益	2,869	2,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△867	572
繰延ヘッジ損益	—	33
為替換算調整勘定	△27	△600
退職給付に係る調整額	360	153
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△0
その他の包括利益合計	△526	159
四半期包括利益	2,343	2,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,343	2,192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	55,715	7,254	2,018	—	—	64,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	33	—	△33	—
計	55,715	7,254	2,051	—	△33	64,989
セグメント利益又は 損失(△)	3,365	203	△4	△0	△6	3,558

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	57,486	7,453	1,791	8,771	—	75,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	163	—	—	—	△163	—
計	57,649	7,453	1,791	8,771	△163	75,503
セグメント利益又は 損失(△)	2,499	240	△44	168	△69	2,794

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インテリア事業」、「エクステリア事業」及び「照明器具事業」の3区分から、「インテリア事業」、「エクステリア事業」、「照明器具事業」及び「海外事業」の4区分に変更しております。

これは、中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」の事業戦略において、海外を重点注力市場と位置付けて連結経営管理することとしたため、平成28年11月に買収したKoroseal Interior Products Holdings, Inc.及び平成28年4月に設立した山月堂(上海)装飾有限公司を「海外事業」セグメントとして区分したものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。